

知的障害者の自立 セルビアで支援へ

生駒の社団法人

生駒市の社会福祉法人「いこま福祉会」(関谷多摩恵理事長)が、旧ユーゴスラビアのセルビア共和国に住む知的障害者の自立支援に乗り出した。国際協力機構(JICA)からの委託事業で、4日、同市役所で小紫雅史市長に活動内容などを報告した。

元会社員で現在は同法人に所属する前田敏機さん(75)が2014年から2年間、JICAのシニアボランティアとしてセルビアで障害者施設の自立支援をし

「いこま福祉会」の前田敏機さん(右)や、セルビアから来たスタッフら。生駒市役所



たのがきっかけだ。「続けてほしい」という現地からの要望を受け、同法人と話

し合ってJICAに事業提案。22年1月まで、事業に取り組むことになった。

主な活動は、手すき和紙を作る作業を、知的障害者の仕事として確立させること。現地ではたばこの空き箱が大量に破棄されているといい、この箱をリサイクルするアイデアだ。

この日、セルビアから来日した福祉関係者や同法人スタッフらが市長を訪問。セルビアの人たちは「障害者が社会とつながり、過ごしやすいようになるよう学びたい」などと抱負を語った。

(伊藤誠)